





箱王(はこおう) 15歳 身長178cm



曾我家の三男で主人公
2歳違いの次兄、一幡(いちまん)と
鬼に攫われた長兄、曾我十郎を救う
旅に出る。

武器 槍

スピードよりパワーで突くタイプ
次兄と旅をする中で柔軟性も
身に着けて強くなっていく。

性格

小さい頃は泣き虫で兄、一幡の
後ろに隠れているような子だったが
性格の弱さを危惧した親に
寺に預けられてから立派なクソガキに成長
身体も大きくなりクマを倒した怪力エピソード有。
けっこう涙もらい。
一見荒々しく見えるが料理は兄より上手い。
野宿での料理はもっぱら弟の担当だった。



曾我家の次男でもう一人の主人公。

鬼に攫われた長兄、十郎を助ける旅を末の弟の箱王と共に使う。

一幡(いちまん)

17歳 身長170cm

武器は太刀

弟の箱王と比べて体格が細身で筋肉が付きにくいのでスピードと受け流す技に特化している。旅の道中で力で押す戦い方も身に着ける

性格

小さい頃はいたずらっ子で箱王をからかって泣かせたりもしていたが長兄、十郎が鬼に攫われてから家を支える自覚が芽生え思慮深くなる。戦闘力の高い弟と、舞の技で邪気を沈める兄の間で己の役割について考えた結果、政治的な知略を磨いて曾我家を支えようと決意する。

普段は穏やかだが戦闘でガチでキレると手が付けられないバーサーカーになる。キレるきっかけは兄弟を悪く言われたり傷つけられたりした時。

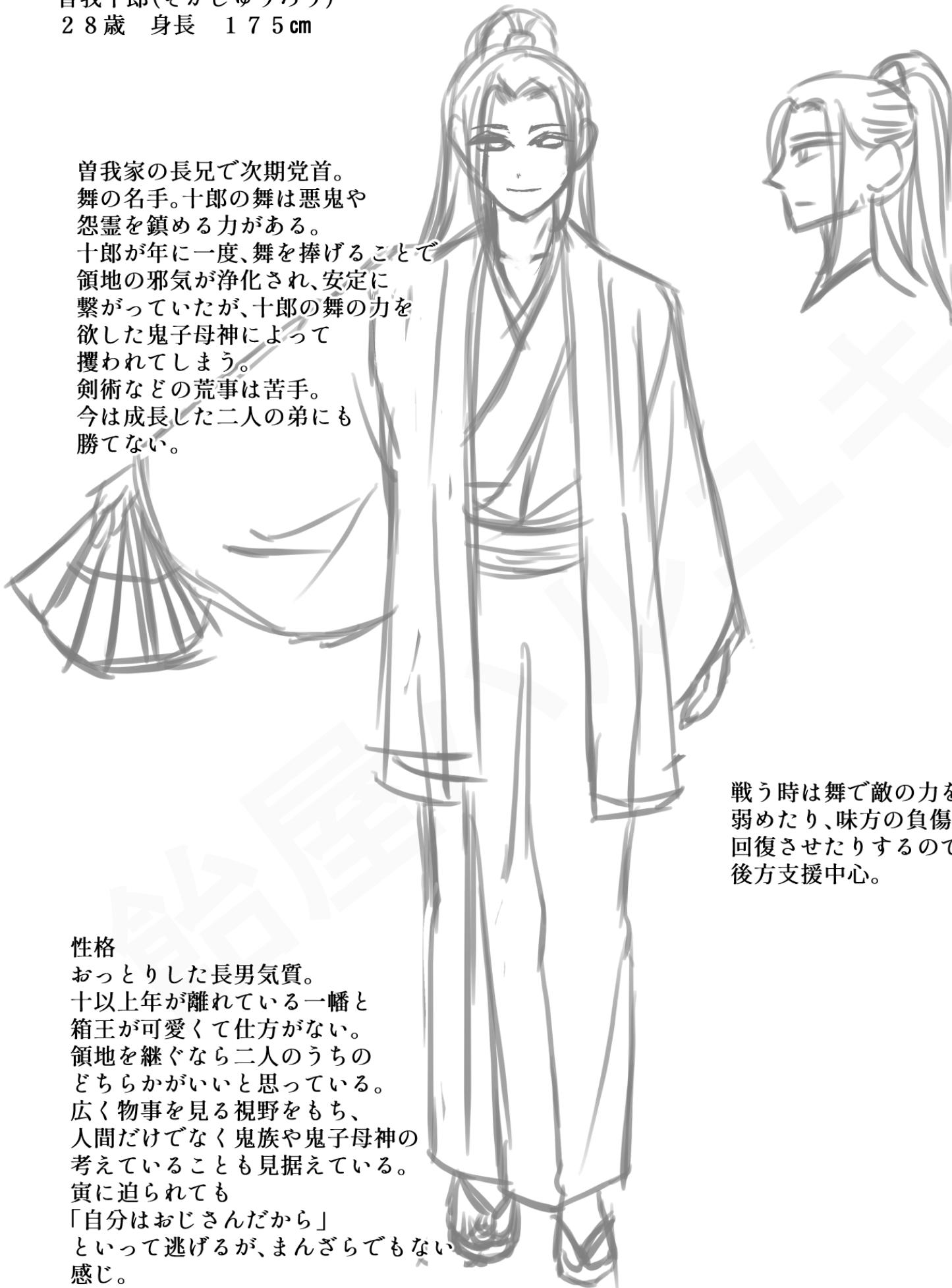
曾我十郎(そがじゅうろう)
28歳 身長 175cm

曾我家の長兄で次期党首。
舞の名手。十郎の舞は悪鬼や
怨霊を鎮める力がある。
十郎が年に一度、舞を捧げることで
領地の邪気が浄化され、安定に
繋がっていたが、十郎の舞の力を
欲した鬼子母神によって
攫われてしまう。
剣術などの荒事は苦手。
今は成長した二人の弟にも
勝てない。

性格

おっとりした長男気質。
十以上年が離れている一幡と
箱王が可愛くて仕方がない。
領地を継ぐなら二人のうちの
どちらかがいいと思っている。
広く物事を見る視野をもち、
人間だけでなく鬼族や鬼子母神の
考えていることも見据えている。
寅に迫られても
「自分はおじさんだから」
といって逃げるが、まんざらでもない
感じ。

戦う時は舞で敵の力を
弱めたり、味方の負傷を
回復させたりするので
後方支援中心。



寅(とら)

21歳 身長183cm



穏健派鬼族の総領娘

一族の為に無理やり結婚させられそうになったところ「婿は自分で探す」といい一族を飛びだした。旅の道中で箱王と一幡と出会い二人が持っていた長兄、十郎の絵姿に一目ぼれ。二人と一緒に旅をするようになる

武器はほぼ使わず肉弾戦中心。
鬼族は人々人間の3~5倍は
強いので武器はあまり使わない。
旅の道中で弓は使えるようになる

性格

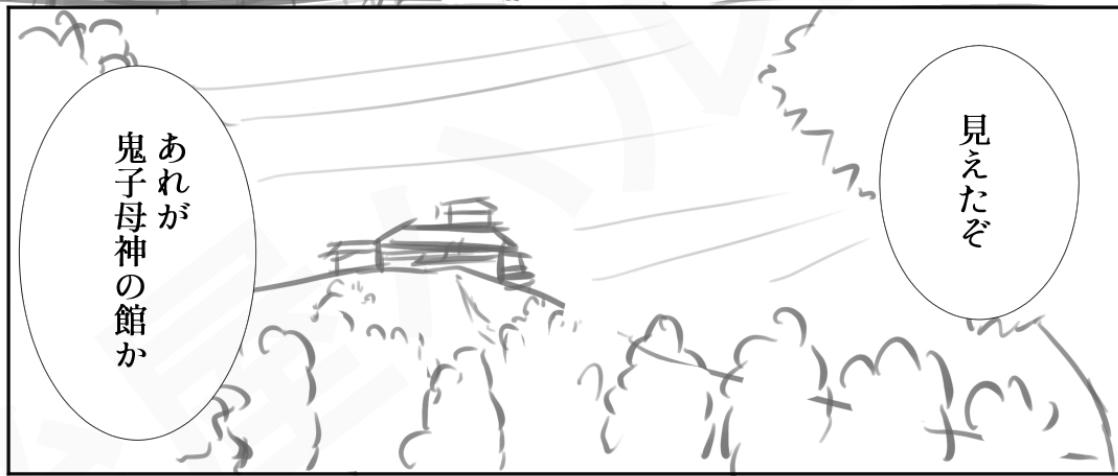
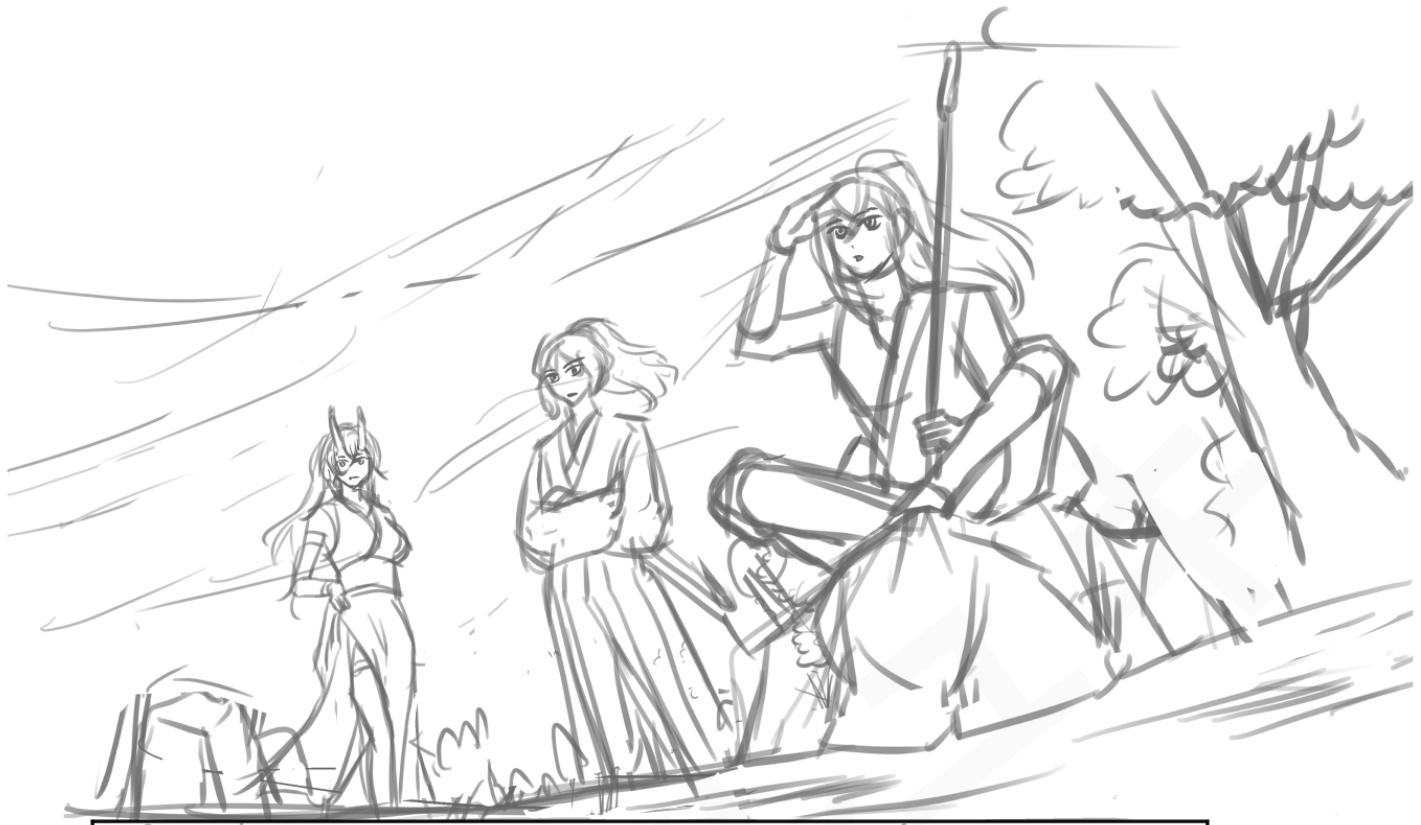
鬼族の惣領娘として育てられたので人間の世界の礼儀等もそれなりに知っている。

一族のことを常に考えているが自分の人生の幸せも考えている。
一幡と箱王は弟のように思っている。

姉後肌で頼れる女性。

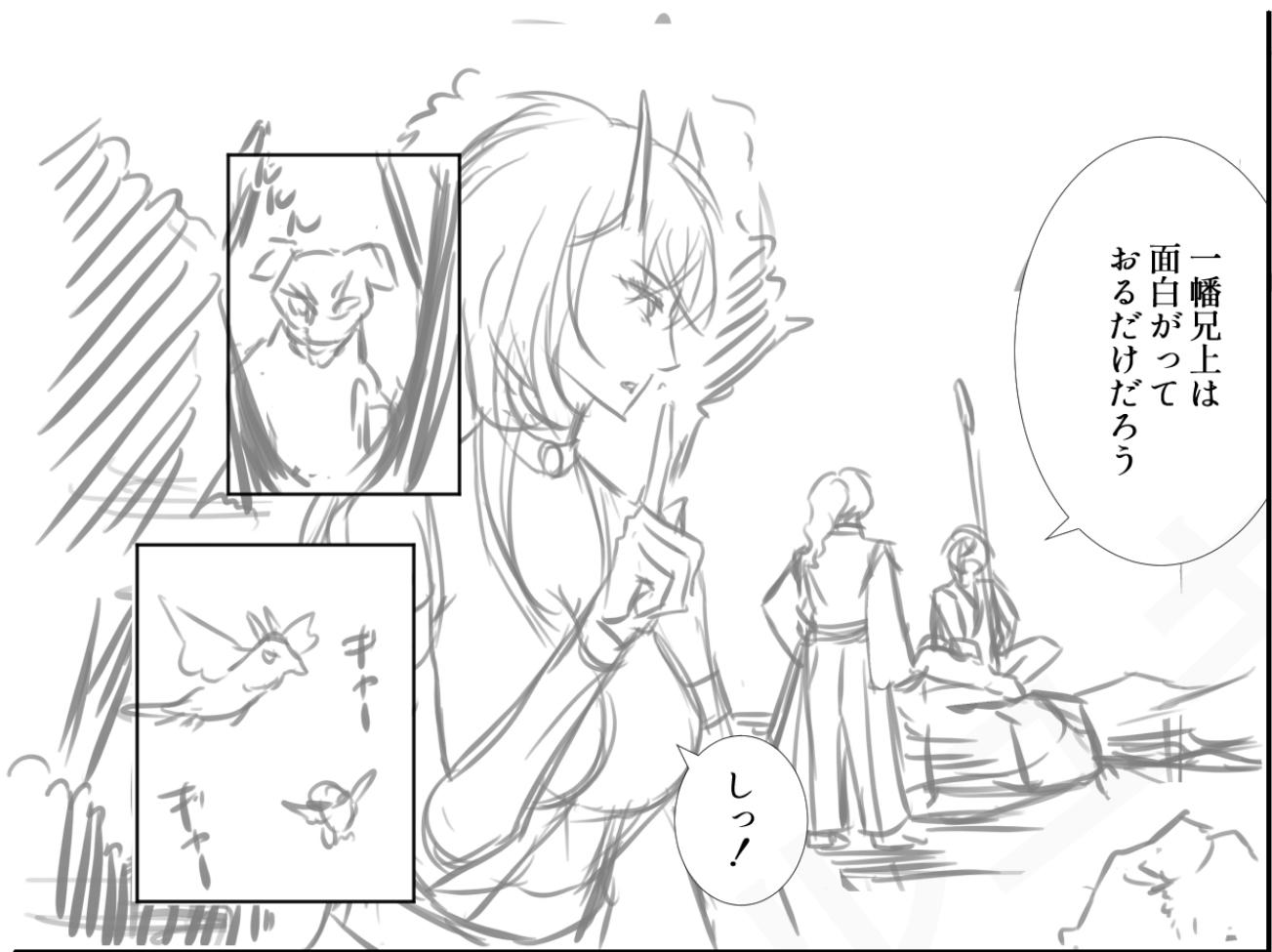
宝石や綺麗なものが大好き。

十郎に一目ぼれしたのも綺麗な男だったからじゃ…?と箱王は思っているが、実は過去に十郎に助けられている。



曾我家次男 一幡





やはり鬼子母神は
十郎兄者を
手離したくは
無いようだな！

それは我らとて
同じこと

十郎兄上が
鬼子母神に
捕らえられた
ままで

この曾我の領地は
悪しき魔物が
跋扈する地獄と
なり果てよう

闇をも照らす
十郎様の舞

アタシもこの目で
見てみたいもんだ!

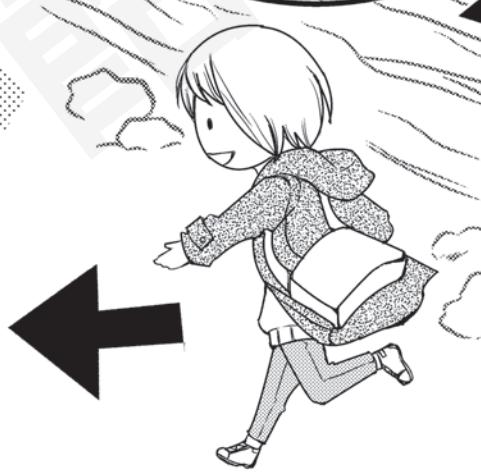
おう!

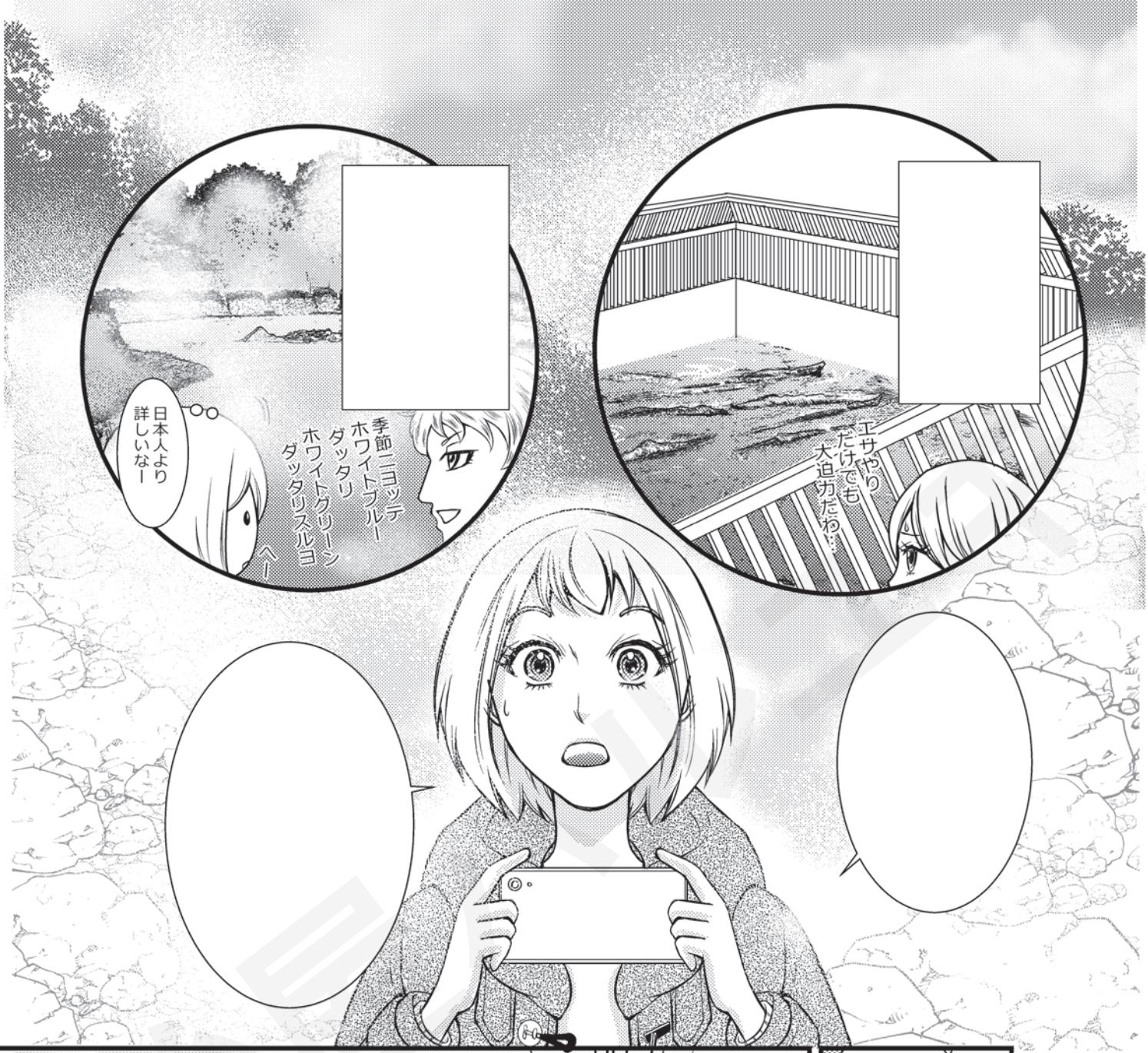
もうすぐ
見られるさ

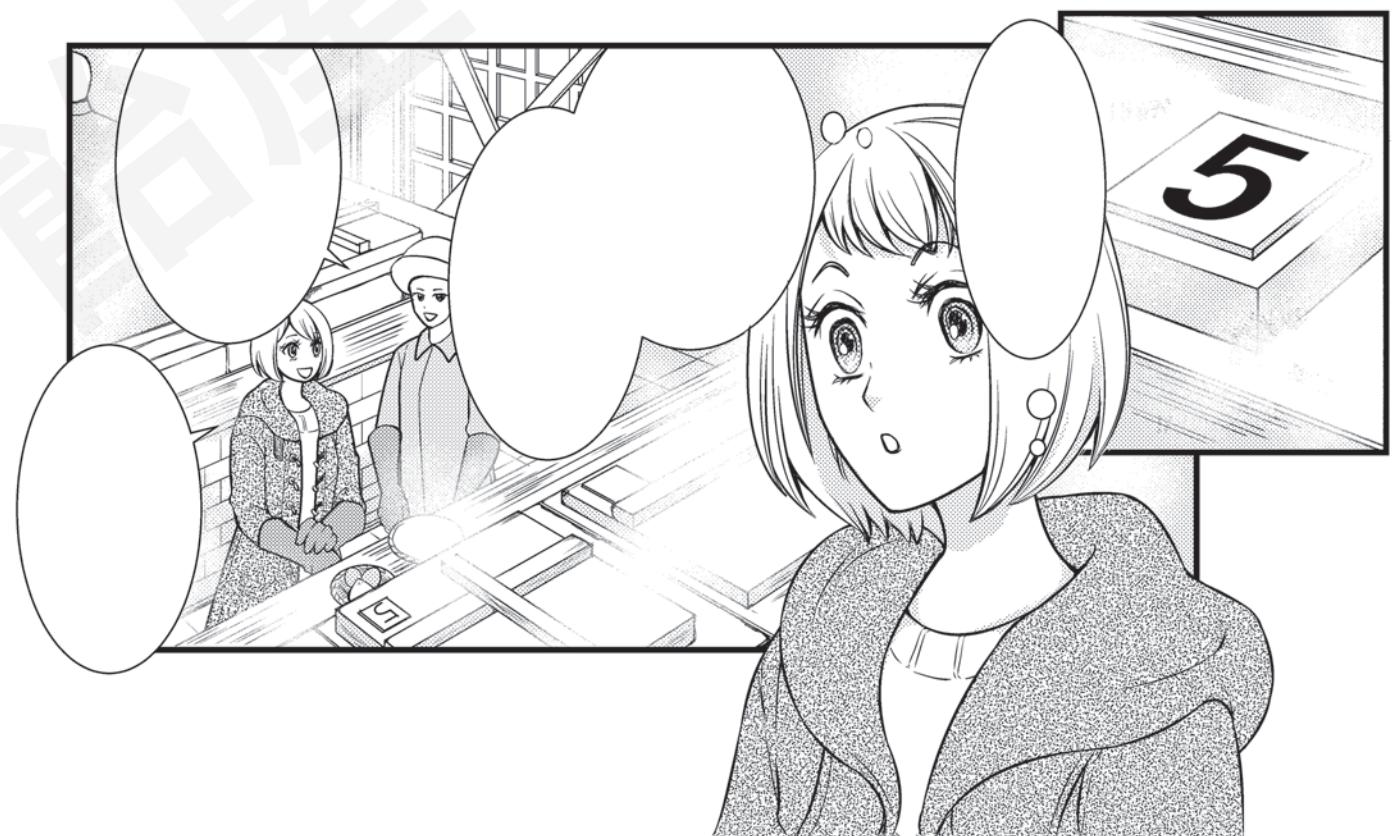
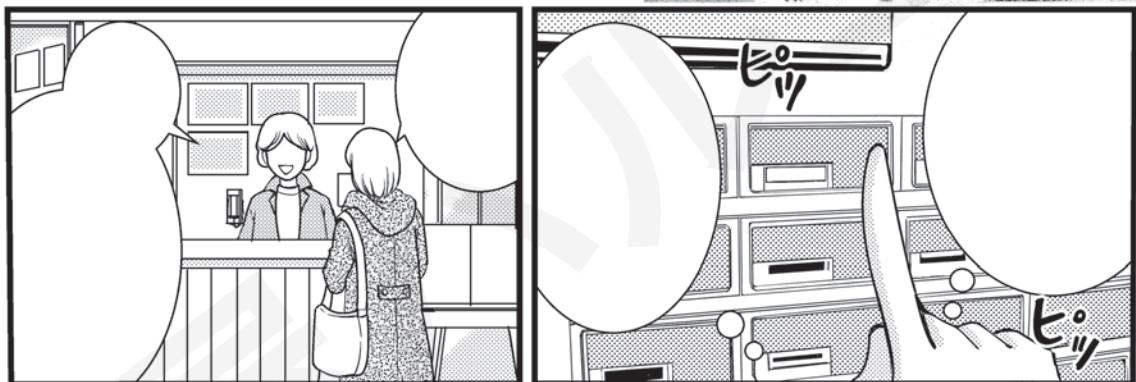
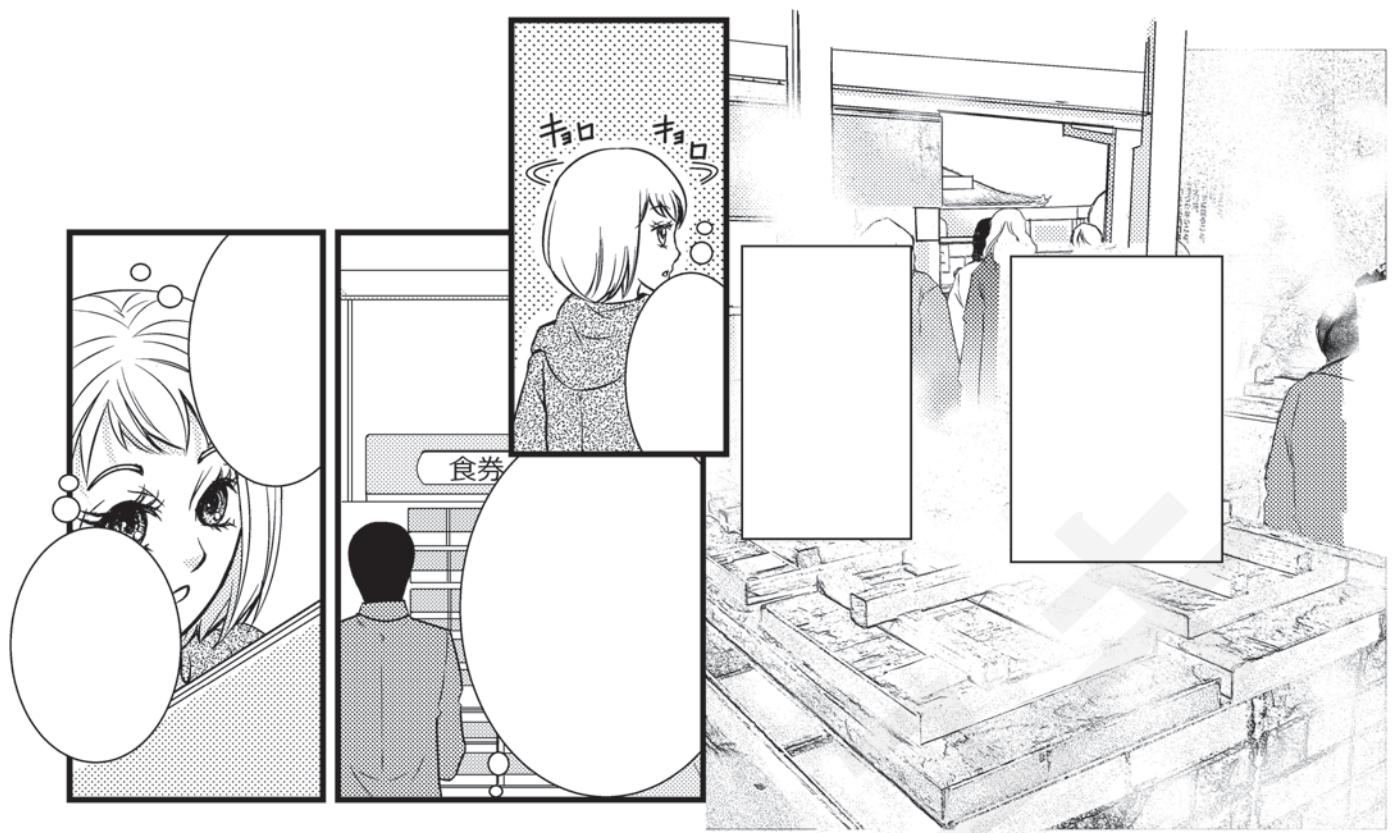
行くぞ!

承知!









戰鬪準備

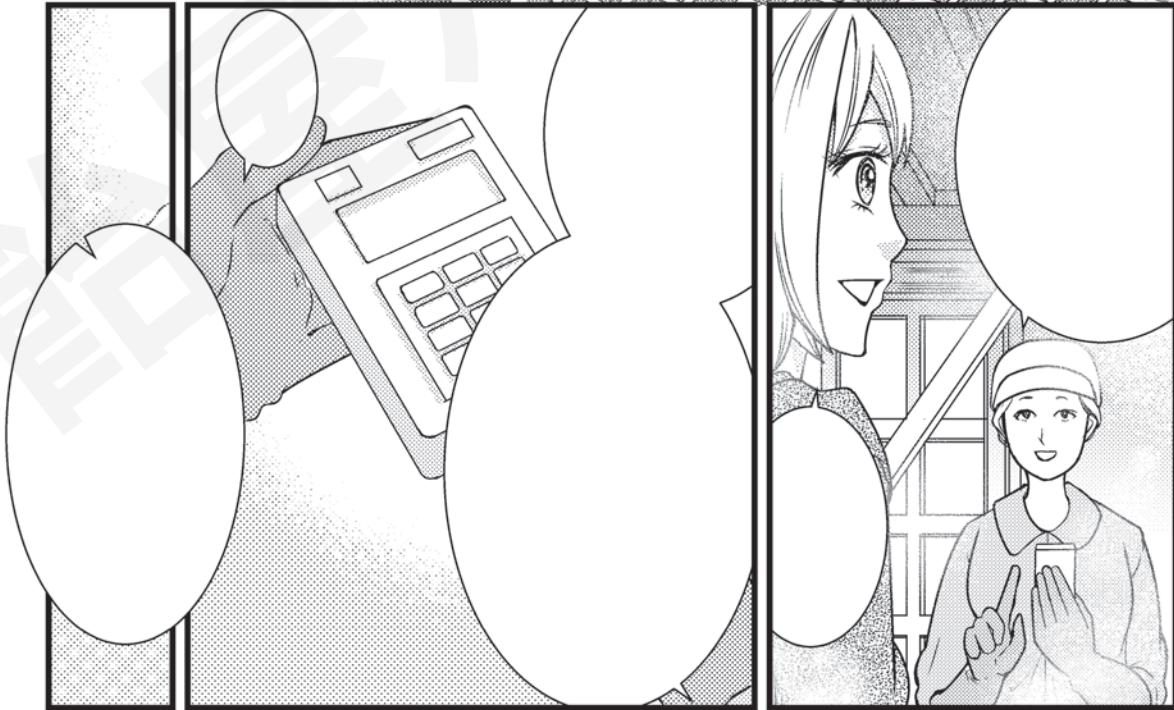
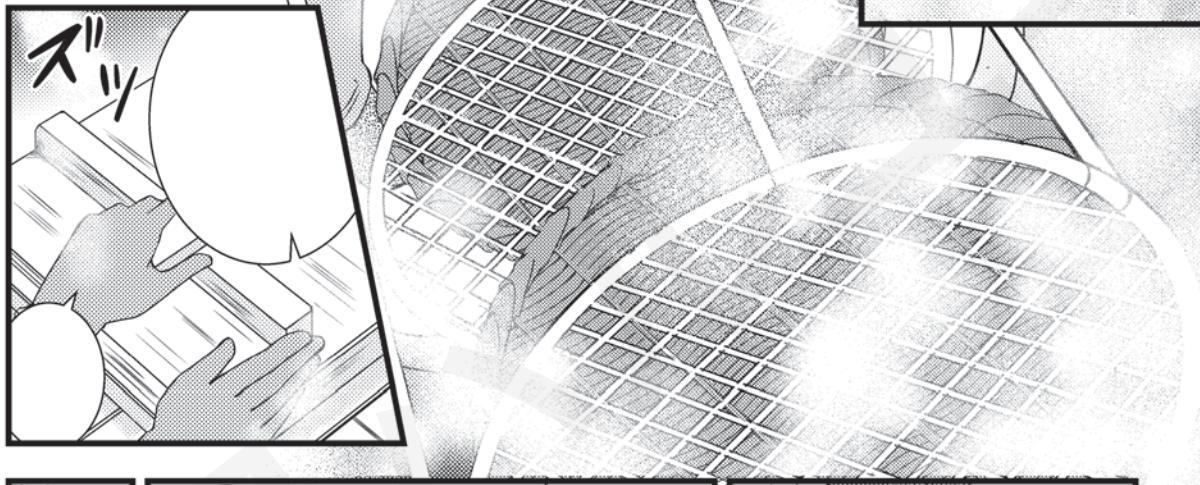
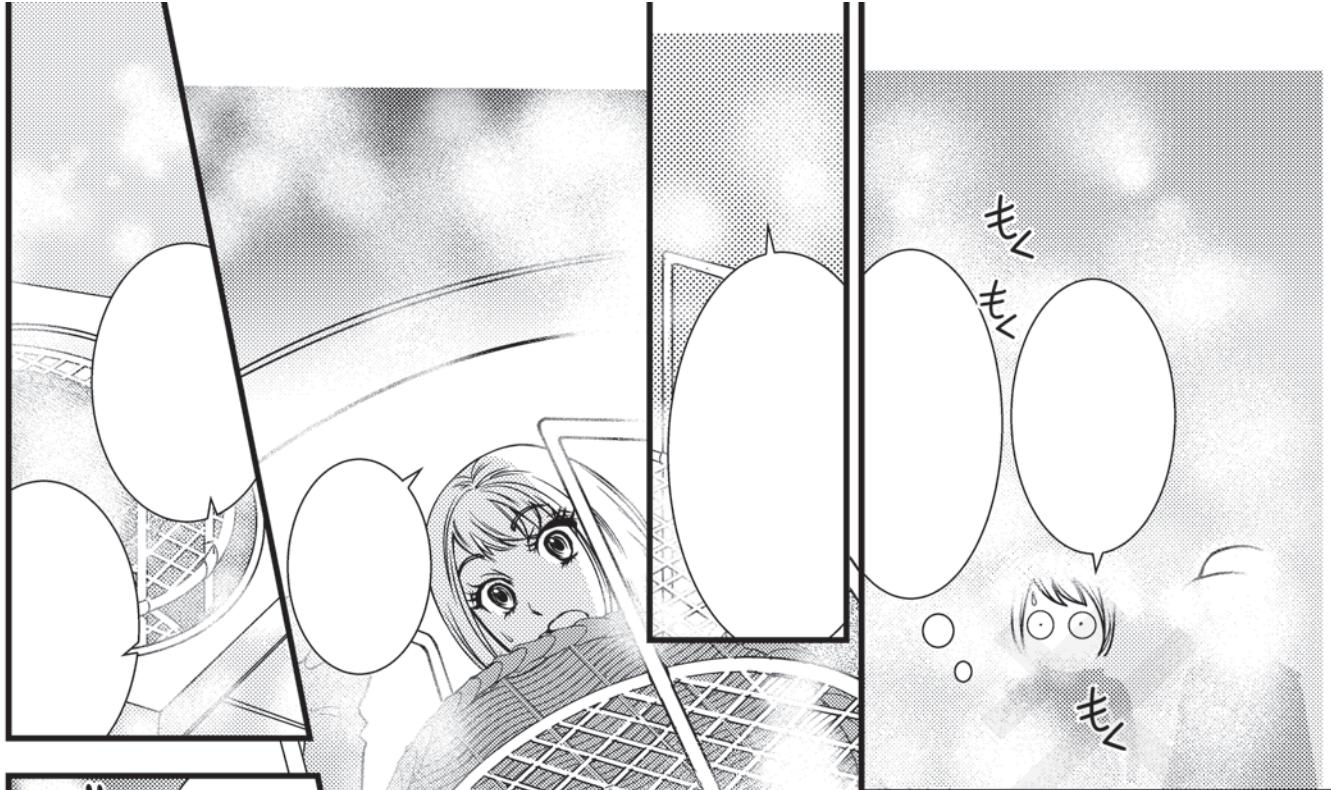
完了！

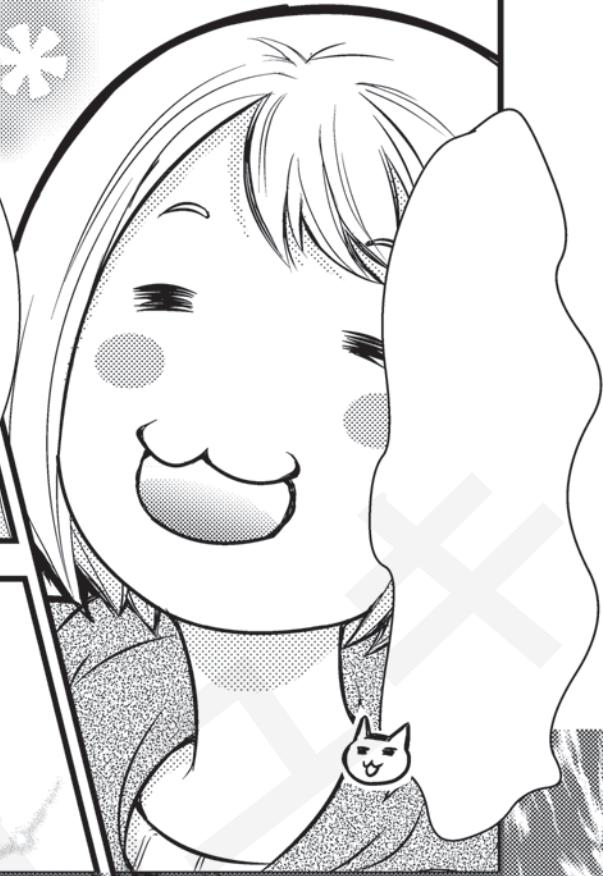
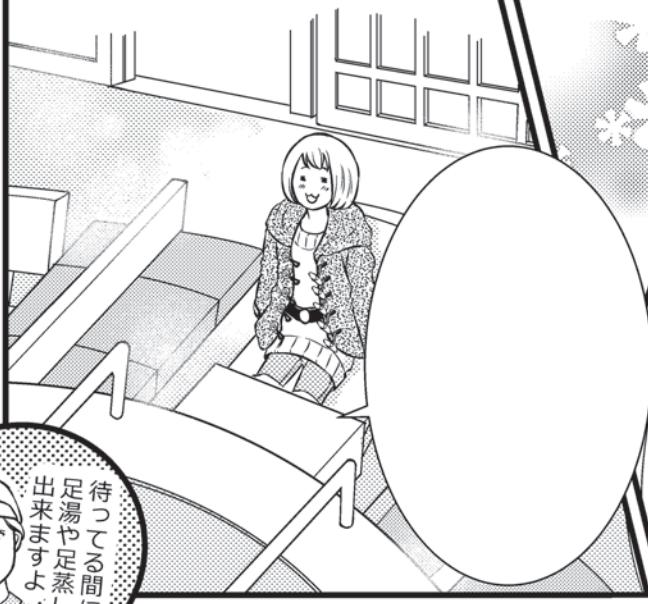
ズ
リ

ヒ

ロ
ロ
ロ







こーですか?
まずは
蒸氣を外に
出してね



獄卒の
仲間入り
だぜー



俺達もー



